

平成28年 8月19日

報 告 書

江田島市議会議長 山根 啓志 様

平成28年度議会報告会 1班

江田島市議会議員 上松 英邦 (班長)
江田島市議会議員 平川 博之 (副班長)
江田島市議会議員 野崎 剛睦
江田島市議会議員 山本 一也
江田島市議会議員 林 久光
江田島市議会議員 片平 司
江田島市議会議員 山本 秀男
江田島市議会議員 酒永 光志

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

1 日程 開催地及び人数

	開催日時	会場	参加人数
能美地区	7月14日(木) 13:30~15:30	市役所本庁 2階 会議室	15人 男13人 女 2人
大柿地区	7月16日(土) 19:00~21:00	大柿公民館 2階 研修室	33人 男16人 女17人

2 役割(受付、司会、あいさつ、報告書、答弁、記録)

区 分	能美地区	大柿地区
司 会	野崎 剛睦	野崎 剛睦
報 告 者	議会：山本 一也 総務：酒永 光志 文教：平川 博之 産建：林 久光	議会：片平 司 総務：酒永 光志 文教：上松 英邦 産建：林 久光
答 弁	全 員	全 員
受付(2名)	上松 英邦 酒永 光志	上松 英邦 酒永 光志
記 録	片平 司	平川 博之
タイムキーパー	事 務 局	

3 報告事項

(1) 6月定例会の概要

【能美地区】

Q 1 議案49号補正予算6,600万円追加の中で、本庁移転に伴う施設維持管理費の組替による増減とは。

A 1 本庁移転に伴う職員の異動で経費的に電気代等の増減があります。

Q 2 臨時福祉給付金事業とは。

A 2 国の予算で低所得者の高齢者に1人3万円給付する事業で、補正予算の合計が66,918万円になります。

Q 3 議案47号の沖美市民センター新築工事が締結したとあるが、市内の大きなプロジェクト計画がある場合、何を見たらいいのか。

A 3 第2次江田島市総合計画がホームページに掲載されています。職員又は議員が出向く出前講座がありますので利用して下さい。

Q 4 議案49号の補正予算で賛成多数とあるが、修正意見があったのか。

A 4 修正意見はありませんでした。

【大柿地区】

Q 1 南海トラフ地震の津波が広島県では最大4mと想定されているが、電柱に1mと表示されている場所は何mの高さまで来るのか。

A 1 1mと表示していたら想定4mの津波が来たら3mの高さです。

Q 2 江田島庁舎で耐震工事をしているが、どの位の震度まで耐えられるのか。

A 2 震度7～8位の耐震はあると思います。

(2) 各常任委員会報告

① 総務常任委員会

【能美地区】

Q 1 まちづくり協議会のあり方で、不公平感が指摘されているとあるが。

A 1 三高のように5つの自治会が集まったの協議会と1自治会での協議会とでは、補助金的に不公平感があるということです。

Q 2 行財政改革について議会としてどのようなスタンスで望むのか。

A 2 現在、第3次江田島市行財政改革で平成27年度から平成31年度の5年間の実施計画を策定しています。基本的にこの実施計画を策定する場合は、執行部

の方で委員会等を作り市民からのパブリックコメントを求めながら、まとめた内容を議会に報告し、議会で内容を確認するようになっています。

Q 3 今回初めて職員の定員適正化計画が出ているが、もっと早くから検討すべきではなかったのか。

A 3 行革大綱の中に当初の定員適正化計画もありましたし、平成27年6月に第2次江田島市定員適正化計画が出来たのですが、若干疑義があるので委員会で調査研究をしていくことで新規に掲げました。

Q 4 人事研修に関する事に関して、高度な専門能力を養成する派遣研修の充実に努められたいの意味は。

A 4 執行部の方は職員研修を広島県の研修センターであるとか、市町村アカデミー、国際文化センターとか、他県でやる研修を毎年派遣して研修を受けさせています。議会には人事権がないので、このような書き方をしています。

Q 5 職員の人材開発と柔軟な配置活用に努められたいの意味は。

A 5 例えば、土木、建設の技術を持っている職員が少ない。この度のように災害が起きますと対応する職員が少ないために地域に対する対応も遅れてくる。職員はオールマイティの職員が求められ、どういうローテーションを組んでもやっていける職員作りを目指すものです。

Q 6 平成29年度以降すべての年度において財源不足が生じる見込みであるが、なぜそうなるのか。

A 6 江田島市の主な財源は地方交付税です。国から約65億円の地方交付税を受けていますが、人口が減ってきますと交付税の総額も減って、平成29年度からは歳入と歳出のバランスが逆転します。

【大柿地区】

Q 1 議会基本条例ができてどう意識が変わったか。

A 1 条例ができて議会報告会、意見交換会、文書質問、出前講座等の機会ができ、一つの進歩だと思います。

Q 2 議会の機能、権限はどこまであるのか。

A 2 市長と議会の二元性ということで市長の執行権に対する議決権、調査権等だと思います。政策的なことも執行部に提言できるよう、勉強していきます。

Q 3 市長が出張に行った場合、どのような形で議会に報告があるのか。

A 3 年4回の定例議会、臨時議会の冒頭で市政報告があります。

② 文教厚生常任委員会

【能美地区】

- Q 1 若い人を島に定住させるには子育ての環境が重要であるが、どのように考えているか。
- A 1 保育施設については平成31年度までに施設整備を完了する予定で、保育料の無料化、中学3年生までの医療費の無料化等を要望してまいります。
- Q 2 委員会の要望事項の最後の文面が「努められたい」を「求めている」とか「要望する」にして欲しい。
- A 2 文章的なことは今後に生かしていきます。
- Q 3 いじめ防止対策はどのように考えているか。
- A 3 校長のリーダーシップのもと、生徒指導体制を確立するとともに各学校の実情に応じ、体系的・計画的な取り組みを進めています。我々議員も継続的に見守っていきたいと考えています。
- Q 4 暑い日が続くが学校のクーラー問題は具体的にどうするのか。
- A 4 今年度、江田島中学校と能美中学校に取り付ける予定です。
- Q 5 大柿高校存続に向けて80人の定員が割り込んでいることは、議員もしっかり認識していると思うが、この4月の人事で校長、教頭、事務長がかわったが、県教委は廃校にしようとしているのでは。
- A 5 本年度の全校生徒数は68人と存続が危ぶまれる状態ですが、本市としましては通学費の援助、公営塾も開始して援助しています。校長先生は加計分校から赴任して来ましたが、その加計分校も存続が危ぶまれていましたが、存続に向けて努力されたと聞いております。
- Q 6 退職教員を利用して学力向上の取組をしてはどうか。
- A 6 委員会に持ち帰って検討します。

【大柿地区】 質疑なし

③ 産業建設常任委員会

【能美地区】

- Q 1 地方創生交付金の活用、申請は何かしているのか。
- A 1 詳しい数字は把握してないが、産業を創設することの補助金申請は出ています。

【大柿地区】 質疑なし

(3) 意見交換会

- ① テーマ：地域のまちづくり
- ② その他（市政に対しての要望等）

【能美地区】

- Q 1 田中市長が一番初めに立候補されるときに、持続可能な協働のまちづくりということの一つの公約として出され、それを受けてまちづくり協議会を31の自治会に作ろうということで始めました。そのときに江田島町13、大柿町5、能美町3、沖美町10自治会がありました。沖美町には当初コミュニティーの組織が無く、自治会を作ろうということで、沖に5、三高5ということで10自治会が作られました。能美方式でいったら三高に1つ、沖に1つで、決して不公平感があるとは思わない。
- A 1 同じ考えですが、単位自治会は三高地区には美能を含めて5つあります。この5つの単位自治会で1つのまちづくり協議会を、5つの自治会が5つのまちづくり協議会を作ることが不公平感であると思います。
- Q 2 全国のまちづくり協議会の単位は旧小学校区、それが無い所は公民館区、この単位でまちづくり協議会を立ち上げるのが一般の形です。まちづくり協議会と自治会とは目的が違います。各単位自治会は、自治会のいろいろなお世話をする。まちづくり協議会は、もう少し大きい単位で何か災害があったとか、自治会では対処出来ない広域の単位自治会プラスNPOとか他の団体を含めて事に当たるのがまちづくり協議会です。各単位自治会がまちづくり協議会を作っても名前が変わるだけで何の意味も無いと思うが。
- A 2 現実には旧小学校区で一つのまちづくりをやっているところもあり、そうでないところもあります。一つの小さい自治会がそのまままちづくり協議会を作り認定書を渡し記事になる。そこらあたりは不公平ではないか。補助金についても一つの小学校単位で30万円出すと、一つの小学校に五つも六つの単位自治会がまちづくり協議会を作った場合、極端な話30万円×5＝150万円になります。そういうことで不公平感がないよう執行部に申し入れしています。
- Q 3 基本は旧小学校単位でとらえたいが、問題はまちづくり協議会は何をやるのかという部分に関しては、昔からの伝統行事、例えば盆踊り大会、とんど祭りなど継続が難しい状況の中でいかに継続していくか、さらに地域防災、高齢者の地域での見守りも含めた取組を組織的に進めていく必要性を含めて、地域の果たす役割をまちづくり協議会という名において取り組んだらどうかというのが基本だろうと思う。能美町の場合、昔小学校があった地域については1つに捉えましょうというのが自然で、鹿川、中町、高田の3地区でいいと思うが、江田島町内における認定区分が少し小さい範囲でやった事実があるので、三高の方から指摘があったのではないかと思います。
- A 3 江田島町は元々区長といって13の集落で区長会をやっていて、小学校で言い

ますと切串、小用、秋月、江田島、宮ノ原、津久茂の6集落です。市からまちづくり協議会を作るようにと言われて集落単位で出来ているのが現状です。江田島町がやってきた自治会とまちづくりとどう違うのか、名前を変えれば済む問題ではないかと考えます。それを、小学校単位にすると、各町の実情で考えてもらわないと、いきなりこの町に合わず、このやり方が良いということは行政も戸惑うのではないかと思います。

- Q 4 まちづくりの先進地を見させてもらいましたが、多くの所がボランティアではなく中核を担う部分に関しては、有償でそのことを仕事として2, 3人おいてやっています。市が本気で考えるのなら地域の力、皆さんの力をベースにして地域全体の問題を支えてくださいと、そこを回す責任者と事務局は場合によっては市の職員でも良いくらいの気持ちでいます。要は100万でも200万でも優秀な人を置くというぐらいの気持ちでやらないと100%ボランティアではほとんどだめになる。継続的に三、四年1人の人が引っ張っていく、自治会は1年毎に半分は変わるのでそこらも含めて議員も考えてもらいたい。
- A 4 議員としても議会としても執行部の方に働きかけたり、住民の方と会って推進していきたいと思います。

- Q 5 中町の老人クラブの会長ですが、中町の老人クラブには市役所OB、元教員が誰も入会してない現状を知って欲しい。
(答えは知らない)

Q 6 総務省の人材派遣制度を知っているか。

- A 6 これについては制度が出来た時点で、市の方に是非導入するようお願いしています。今のとこまだですが、地域おこし協力隊という制度が出来たので本年度4名ほど国の補助金を使って導入しています。

【大柿地区】

- Q 1 合併協議会の議事録の中で、江田島市の発展は飛渡瀬・江南を中心にしたまちづくりから始めるとあるが、すべての施設はドーナツ現象で周りばかりよくなっているがどう思うか。
- A 1 第2次総合計画の中で、今江田島市が実施している総合計画が最上位の計画でこれが基本になっています。このような計画に沿って実施しているので、決してドーナツ現象ではないことを理解して頂きたい。
- Q 2 津久茂大橋の取組は。
- A 2 毎年県を通じて国に要望及び陳情をしています。
- Q 3 内海湾の埋め立て構想がありますが、今でも計画があるのか。
- A 3 昔の計画で県には要望していません。

Q 4 どぶろくを江田島市で特許をとって進めている事業があるのか。

A 4 ありません。

Q 5 ICT教育といってもタブレットが4台しかないが。

A 5 本年度ICT活用推進校(中町小、大柿中)を指定し、デジタルペン80本及びタブレット18台を整備します。

Q 6 独居老人に対する取組は。

A 6 各地区で民生委員、見守り支援員、女性会、老人クラブ等の人が見守りをしていますし、地域包括支援センターでは市内32か所で、いきいき百歳体操を実施しています。

Q 7 包括支援センターの職員が少ないのでは。

A 7 市に要望したいと思います。

Q 8 農地の放棄で自然破壊させていますが、木を植えたらどうか。

A 8 江田島市農業ビジョンの中で、特産品を作るように優良農地をしっかりと耕して畑にし、漁業のためには山に木を植えることを執行部に伝えます。

Q 9 空き家は市に何軒あるか

A 9 空き家と認定したのが1,374件で、水道を止めた家を含めると3,753軒あります。

Q 10 空き地に草が生え放題になり、持主がどこにいるのか分からないので市役所に対処して欲しいと相談すると越権行為になると断られたが。

A 10 越権行為以前に地域にとっては危険な状態であるので、せめて草刈りでも出来るよう行政に相談してみます。

Q 11 教育委員会で、小中学校から島外の高校に出た子どもについて追跡調査したことがあるか。また議会で提案したことがあるか。

A 11 教育委員会に提案はしているが実施されていません。

4 まとめ(所見)

① 2会場とも昨年とほぼ同数の参加者であったが、毎年同じ顔ぶれの人が多く幅広い人の参加が課題である。

② 同じ人の発言が多いので質問は一人1回などの工夫が必要である。

③ 意見交換会の地域のまちづくりについては、旧小学校に一つのまちづくり協議

会が基本ではないかとの意見が多く出ました。各町の事情もあるが不公平感がないようにする必要があったと感じた。

- ④ 市政に対する要望は、予想以上の意見、要望などがあり議会では対応できないことも多く執行部との議論が必要と感じた。

今年で3回目の議会報告会になるが、住民からの意見、要望は多くこれらの声を市政に反映しなければならないが、議会、行政、市民を交えた話合いの場が必要だと感じた。